

第31回 運動障害研究会プログラム

当番幹事 東京慈恵会医科大学 神経内科 栗田 正

日時 2006年1月21日(土)
 時間 14:00 ~ 18:00
 場所 大日本住友製薬(株)東京本社 2階会議室
 東京都中央区京橋1丁目12番2号 TEL 03-5159-2540

SESSION I

14:00 ~ 15:20 座長 慶應義塾大学 医学部 神経内科 高橋一司

1. 左片麻痺で発症したギラン・バレー症候群の1例
井口正寛, 駒谷幸子, 白田明子, 山根清美(太田熱海病院 脳神経センター 神経内科)
2. 片側萎縮に対側の眼球運動障害を呈した Parry-Romberg 症候群の1例
木村浩晃, 大平雅之, 山口啓二, 高橋一司, 鈴木則宏(慶應大学 医学部 神経内科)
3. Schwaltz-Jampel 症候群 動物モデルのミオトニアについて
林 明人¹⁾²⁾, 平澤恵理¹⁾(順天堂大学 脳神経内科,²⁾同大学院 リハビリテーション医学)
4. 軽度の waxing を示した Fisher 症候群の1例
吉田昌史, 大塚美恵子, 植木 彰(自治医科大学 大宮医療センター 神経内科)
5. 回復期における脳卒中片麻痺患者の反応時間の推移
武田康義, 天草万里, 田中 敦, 中村隆一(医療法人のぞみ会 希望病院)

SESSION II

15:25 ~ 16:45 座長 東京医科大学 神経内科 内海裕也

5. 一側上肢屈曲麻痺の1例
小國英一, 永田博司(茨城県立医療大学)
6. STN-DBS によって painful off-period dystonia が軽減したパーキンソン病の1例
小栗卓也¹⁾, 豊田剛成¹⁾, 山脇健盛¹⁾, 小鹿幸生¹⁾, 梅村 淳²⁾
(¹⁾名古屋市立大学神経内科,²⁾同脳神経外科)
7. 著しい後方転倒をきたした MSA 患者に対する表面筋電図での検討
磯部建夫, 坂本 剛, 栗田 正, 井上聖啓(東京慈恵会医科大学 神経内科)
8. Cyclogram によるパーキンソン病に対する歩行器の効果判定
梶川博之, 朝日 理, 内藤 寛, 葛原茂樹(三重大学 神経内科)
9. 多系統萎縮症における黒質線条体機能障害の解析 A pet study
橋本昌也¹⁾²⁾, 川崎敬一²⁾, 鈴木正彦¹⁾²⁾, 井上聖啓¹⁾, 三谷和子³⁾, 三品雅洋²⁾⁴⁾, 織田圭一²⁾,
木村裕一²⁾, 石渡喜一²⁾, 石井賢二²⁾
(¹⁾東京慈恵会医科大学 神経内科,²⁾東京都老人総合研究所ボジトロン医学研究施設,³⁾同神経内科)
10. 視野障害, 脳波異常を呈した成人男性例グルタミン酸受容体抗体の検討
瀬川文徳, 鈴木瑞枝, 西岡昌紀(東芝林間病院 神経内科)

coffee break

特別講演

17:00 ~ 18:00 座長 東京慈恵会医科大学 神経内科 栗田 正

特別講演

「ヒトで脳基底核は何をしているか？」

宇川義一 先生(東京大学医学部 神経内科 講師)